



入念な作り込みで進化したフルテックの電源最新モデル 特殊素材NCFの調合などで大幅進化 高品位な電源供給を担う強力な製品群

フルテックから、使い勝手と音質性能に優れた新しい電源ボックスが新発売された。入力から出力まで全て、NCF+非磁性ロジウムメッキの最高峰端子を採用し、筐体内の底部には電磁波吸収材GC-303を配置。コンセントカバーも、NCFダンパーとEMC対策を採用する最新フラッグシップモデルで設計している。さまざまなノイズを効果的に吸収しつつ、埋もれていた音源本来の魅力を引き出す本モデルは「オーディオアクセサリ銘機賞2024」のグランプリを受賞した。ここでは同時にグランプリを受賞となった最高峰電源ケーブルと、電源関連アイテム部門で受賞のアウトレットカバーとともにレポートする。

Main Photo by 田代法生



FURUTECH 106-D Plus NCF

アウトレットカバー ¥17,809(税込)



FURUTECH GTO-D2 NCF(R) Powerflux-C15 NCF-18

電源ボックス ¥136,367(税込)

Grand Prix
(グランプリ)

電源ケーブル ¥338,800 / 1.8m(税込)



Grand Prix
(グランプリ)

●GTO・D2 NCF (R)
最新鋭4口電源ボックス
クリアながら重厚な音が秀逸

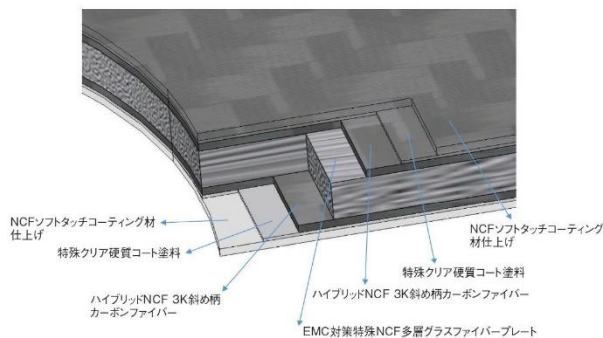
この度のオーディオアクセサリ
1銘機賞2024でグランプリを
受賞した電源ボックス「GTO・
D2 NCF (R)」は、これまで
海外のみで展開されていた製品
で、同じく先般新発売となったコ
ンセントプレート「106・D
Plus NCF」を装備し、満
を持して日本初登場となったモデ
ルである。

本機のシャーシは、縦方向から
断面を見ると、写真のように台形
状に組み上げられた肉厚なアルミ
製筐体となっている。側面板は浅
い角度の「くの字」形状となっ
ており、剛性向上を含む振動対策へ
の配慮が見てとれる。また表面は、
高周波ノイズ対策のフルオロポリ
マー（フッ素化プラスチック）製
のタンピングフォイルで処理され
ていることもあってか、本体を軽
くノックしてみてもほとんど鳴き
が聞こえない仕上げ。そのほか、
内部配線には同社アルファプロセ

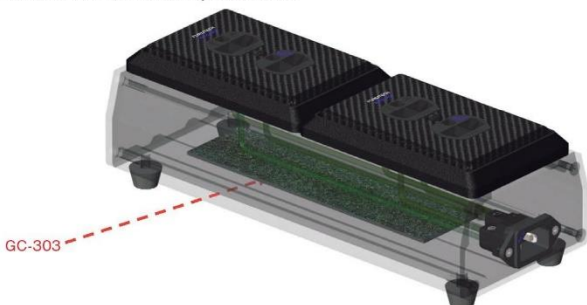


Text by
生形 三郎
Saburo Urukata

「オーディオアクセサリ」銘機賞2024
受賞モデル *Special Issue*



「106-D Plus NCF」のMultilayer構造説明図



「GTO-D2 NCF (R)」の本体内の底部に設置した、FURUTECHの電磁波吸収材GC-303の効果で、外来ノイズを効果的に吸収する

Specifications

<GTO-D2 NCF(R)>

●型式:電源ボックス ●筐体:特製CNC加工特殊グレードアルミシャーシ+特殊フルオロポリマー製ダンピングフィルム(RFI防止) ●IECインレット:「FI-06 NCF (R)」(非磁性ロジウムメッキ) ●アウトレットコンセント:GTO-D2 NCF (R) 専用・特製NCF仕様・非磁性ロジウムメッキコンセント ●アウトレットカバー:「106-D Plus NCF」 ●内部配線:高純度μ-OFC Alpha-22 (3.8sq mm) 導体+2層フッ素ポリマーとポリエチレン絶縁体 ●サイズ:約108.5W×77H×283.4Lmm(スパイク部除く) ●質量:約2.1kg(ネット)

<Powerlux-C15 NCF-18>

●型式:電源ケーブル ●接続部端子部(端子接点是非磁性ロジウムメッキ):プラグ「FI-50M NCF (R)」(カーボンファイバー-NCF仕様)、IECコネクタ「CF-C15 NCF (R)」(スリムタイプのカーボンファイバー-NCF仕様) ●ケーブル素材:α-導体(OCC素材)の高密度導体 ●絶縁材:カーボンパウダー調合の高機能PVCを用いた2重シース構造(振動と外部からのノイズを遮断するとともに柔軟性を合わせ持つ) ●ケーブル直径:約17.5mm ●定格:15A 125

<106-D Plus NCF>

●型式:コンセントカバー ●本体サイズ:72.1×116.4×5.3mm±0.3mm ●質量:約25.9g(ネット、±1.5g) ●接続ネジサイズ:M4×12(L)mm、ステンレス製

配線する「フルテックフロートダングワイヤードダンパーシステム」を搭載して、電流が流れる際に発生してしまう浮遊磁場を抑制するとともに、構成部品を電氣的に一体化して電位差をなくすことで、外部流入ノイズの悪影響を低減させる特許取得「アースジャンパーシステム」も内蔵されている。

そのサウンドは、やはり「Powerlux NCF・18」同様、力強く磐石なボトムと、明瞭なディテール描写を堪能できるものだ。清潔感あふれる音像や空間の描写は当然のこと、歌声や楽器の存在感をしっかりと浮き立たせる旨味豊かなサウンドを楽しめる、堂々たるフラグシップケーブルなのである。

●106・D Plus NCF
最高峰の新コンセントプレートより静寂で癒えない自然な音に

先述の電源ボックス「GTO・D2 NCF (R)」にも採用されている同社の新コンセントプレート「106・D Plus NCF」は、中心部の素材をECM対策実施済み「特殊NCF多層ガラスファイバープレート」へと、この度新たに変更したものだ。これによって、マルチマテリアルハイブリッド構造による静電効果や制振効果がさらに高まり、従来モデルよりも一層静寂感の高いサウンドが追求されている。上記電源ボックスに新旧プレートを取り付けて比較試験したが、その違いは瞭然として、新モデルは、静寂感に加えて、より癖のないナチュラルなサウンド傾向が得られるプレートへと正常進化している。

ス超低温処理と特殊電磁界処理)を施したOFC線材が用いられ、コンセントや後述するコンセントプレート、インレットにはもちろん同社のNCF採用品がそれぞれ用いられている。また、底面には同社の電磁波吸収材である「GC・303」が配置されるなど、入念な仕様で高音質が追求された逸品だ。

実はこのコンセントボックス、数年前に6口タイプを聴く機会があり、そこで聴いた音質やプロダクトとしての存在感が気に入っ

て、すぐさま自宅システムへと導入したものである。先述した頑強なシャーシへ重厚なコンセントプレート「GTX Wall Plate」を取り付けるとい構造が採用され、フルテック製の電源アクセサリがふんだんに用いられた本機は、傾向として、NCFならではのクリアな質感が発揮されるながらも、パワフルかつ重厚なサウンドを確立している点が秀逸。大変充実感のある音が得られるのだ。さらに、必要とあればコンセントやコンセントプレートを自由

にアレンジして使えるその本体仕様も大変気に入っている。形状的にも、細長くシステムの隙間に配置しやすくも、重厚で安定感があるので使用しやすく、導入以来拙宅システムの要として活躍してくれている。

●Powerlux・C15 NCF・18
最高峰スリム端子電源ケーブル
力強く明瞭で旨味豊かな音質

同じくフラグシップを受賞した同社フラグシップ電源ケーブル「Powerlux・C15 NCF・18」も、本年の大注目プロ

ダクトだ。最大の特徴として、スリムタイプのカーボンファイバーNCF仕様のIECコネクタ「CF・C15 NCF (R)」が採用されている。これによって、内外ケーブルメーカーがこぞって採用するフルテックのフラグシップ・コネクタの高い性能はそのままに、スリム化によって幅広いコンセントに使用し易い形状が実現している。

線材には、OCC素材にアルファプロセスを施したα導体を採用。また本ケーブルは、金属部品をアース

そのサウンドは、やはり「Powerlux NCF・18」同様、力強く磐石なボトムと、明瞭なディテール描写を堪能できるものだ。清潔感あふれる音像や空間の描写は当然のこと、歌声や楽器の存在感をしっかりと浮き立たせる旨味豊かなサウンドを楽しめる、堂々たるフラグシップケーブルなのである。

●106・D Plus NCF
最高峰の新コンセントプレートより静寂で癒えない自然な音に

先述の電源ボックス「GTO・D2 NCF (R)」にも採用されている同社の新コンセントプレート「106・D Plus NCF」は、中心部の素材をECM対策実施済み「特殊NCF多層ガラスファイバープレート」へと、この度新たに変更したものだ。これによって、マルチマテリアルハイブリッド構造による静電効果や制振効果がさらに高まり、従来モデルよりも一層静寂感の高いサウンドが追求されている。上記電源ボックスに新旧プレートを取り付けて比較試験したが、その違いは瞭然として、新モデルは、静寂感に加えて、より癖のないナチュラルなサウンド傾向が得られるプレートへと正常進化している。